

平成 28 年 8 月 17 日

北海道旅客鉄道株式会社

石勝線（新夕張・夕張間）の鉄道事業廃止について

石勝線（新夕張・夕張間 16.1km）は、明治 25（1892）年の開通以来、120 数年の永きにわたり地域の重要な交通手段として皆様にご利用頂いて参りました。しかしながら、トンネル・橋りょう等の土木構造物の老朽劣化が著しく、将来にわたって列車運行を継続するにはこれら土木構造物の老朽更新等抜本的対策に巨額の維持更新費が必要となる見込みです。

また、輸送密度は弊社が発足した昭和 62 年度の 1,129 人から平成 27 年度には 118 人と 10 分の 1 に減少しています。収支状況についても平成 26 年度で約 1 億 8 千万円の赤字となっています。

このようななか、8 月 8 日夕張市長鈴木直道様より、「夕張市の財政状況や現在の地域交通の状況、夕張支線の状況を踏まえ、夕張市として、どのような交通体系が最良であり、効率的で持続可能なものかを一緒に考えていただけないか」とご提案をいただきました。

夕張市長のご提案は、「線区を今後も将来に亘って維持することが困難である以上、ピンチをチャンスに変えて、この機会に将来を見据えて効率的で持続可能な交通体系を夕張市に構築したい」というものであり、各々の地域に合った交通体系をご相談したいと考えていた弊社の考えと合致するものであります。

夕張市長のご提案を踏まえ、当該線区の今後について社内で検討を行った結果、本日、石勝線（新夕張・夕張間）の鉄道事業廃止について夕張市長に正式に申し入れさせていただきました。

なお、廃止の時期につきましては、今後の協議を踏まえ別途提案させていただきます。

地域の皆様には、今後丁寧なご説明を行いながら、本日の提案に基づいた協議を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

石勝線（新夕張・夕張間）の概要

1. 石勝線（新夕張・夕張間）の沿革

石勝線は、明治 25 年 11 月 1 日に、夕張炭山で産出される石炭輸送を担うため、当時の北海道炭礦鉄道によって追分・紅葉山（現：新夕張）・夕張間が開業しました。その後、明治 39 年に国有化に伴い夕張線となり、昭和 56 年の南千歳・追分間および新夕張・新得間鉄道営業開始に伴い、名称を石勝線と変更し現在に至っています。

新夕張・夕張間では室蘭港への石炭輸送により活況を呈しましたが、その後の石炭産業の衰退や自動車の普及等により鉄道に対する需要が大幅に減少し、昭和 47 年に急行列車、平成 2 年に貨物列車がそれぞれ廃止しています。

2. 石勝線（新夕張・夕張間）の現況

新夕張・夕張間には使用開始から 100 年近く経過したトンネル・橋りょうがあり、現状では列車の運転に大きな支障はないものの、将来にわたって列車運行を継続するためには、これら土木構造物の老朽更新等抜本的対策に巨額の費用が必要となる見込みです。

また、モータリゼーションの進展、高校の閉校など線区を取り巻く環境変化から利用者が減少の一途を辿っており、地域における鉄道のご利用はごく限られたものとなっています。

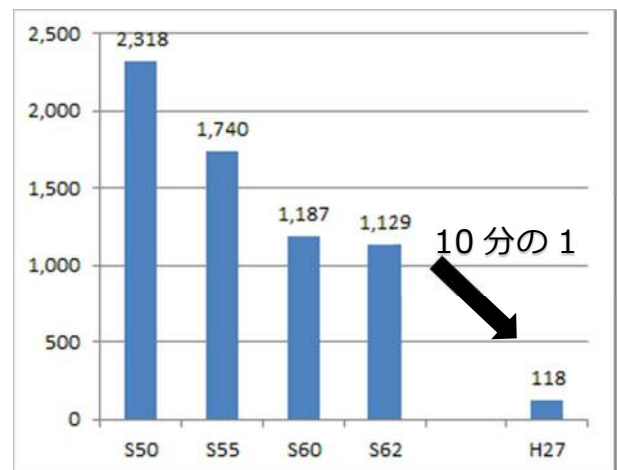
輸送密度は弊社が発足した昭和 62 年度の 1,129 人から平成 27 年度には 118 人と 10 分の 1 に減少し、弊社の営業線区の中でも極めてご利用が少ない線区となっています。

また、平成 26 年度の収支状況については、営業収入が 14 百万円に対して、経費は約 2 億円を要し、差し引き年間約 1 億 8 千万円の赤字となっています。

なお、当該線区には並行して路線バスが運行され、鉄道が一日上下 10 本に対し、路線バスは新夕張・南清水沢間で上下 11 本、南清水沢・夕張間で上下 20 本と、路線バスが重要な生活の足となっています。

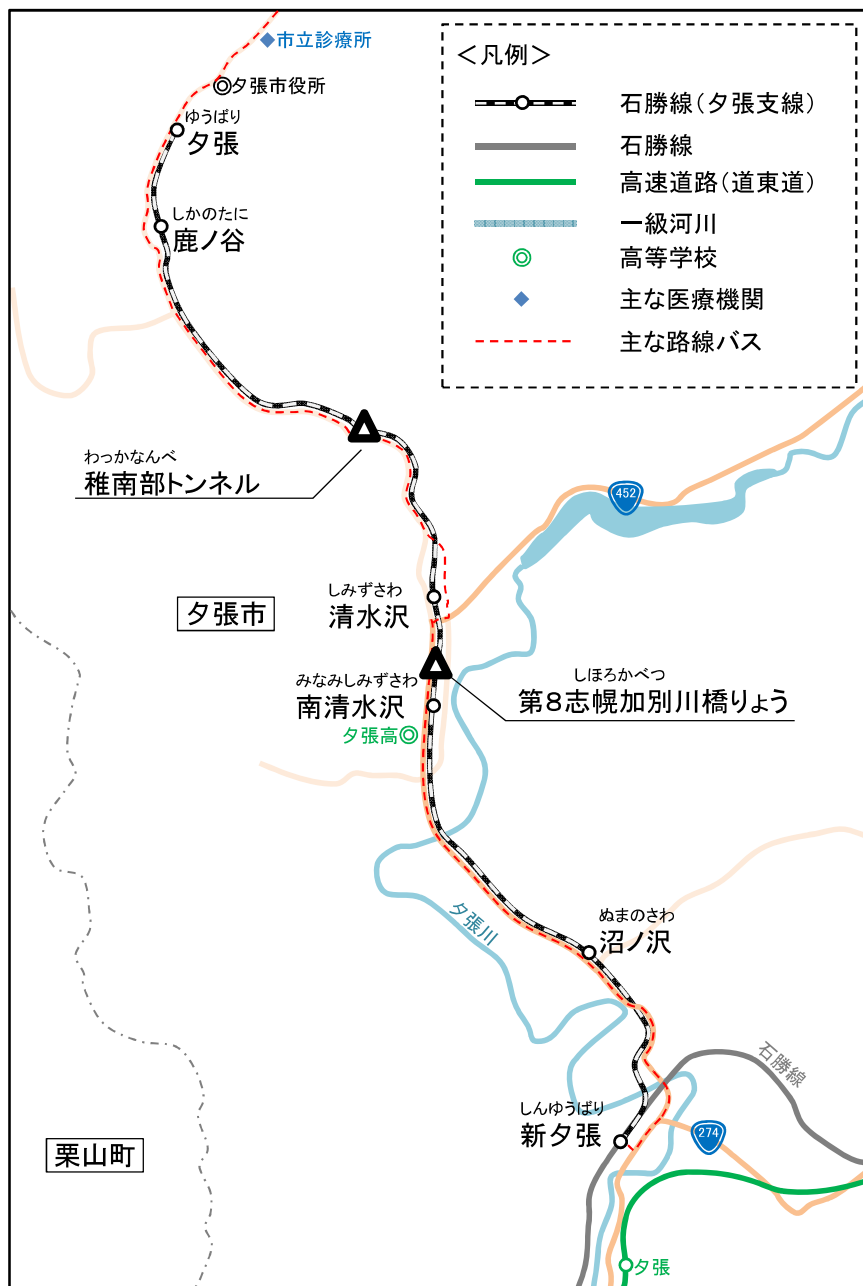


わっかなんべ
経年 98 年の 稚南部トンネル



輸送密度の推移 (単位：人/日/キロ)

石勝線(新夕張・夕張間)沿線の概況



■鉄道諸元(新夕張・夕張間) ※平成28年3月26日時点

- ・営業キロ 16.1km
- ・列車本数 普通列車 10本(上り 5本、下り 5本)
- ・所要時分 23分~29分
- ・駅数 6駅(有人1駅、無人5駅)
※有人駅は新夕張

■経過年数の進んだ土木構造物の例



わっかなんべ
稚南部トンネル
 大正7年完成(経年98年)
 延長161.3m

- ・老朽化に伴うレンガ覆工の劣化、漏水による結氷、不良路盤による軌道の凍上
- ※平成26年2月より列車徐行(25km/h)を実施
- 対策工事：概算650百万円
- ・既存覆工の内面に補強層を構築
- ・不良路盤を置換



しほろかべつ
第8志幌加別川橋りょう
 大正7年完成(経年98年)
 鋼桁3連(12.9m-19.2m-12.9m)

- ・老朽化に伴う鋼材の腐食等
- 対策工事 概算90百万円
- ・鋼桁3連を新品に交換

※第8志幌加別川橋りょうのほかに、経年が100年近い橋りょうが13橋ある。